

愛媛水平社100年記念大会 教育長あいさつ

令和5年5月30日（火）  
愛媛県県民文化会館

愛媛県人権対策協議会におかれましては、人権が尊重される社会の実現に向けて、同和問題をはじめ、様々な人権問題の解決に御尽力いただいております。人権・同和教育の推進に取り組む者として、大変心強く思います。

また、先人の部落差別解消への熱い思いが脈々と受け継がれ、本日、愛媛水平社設立から100年の節目の記念大会が開催されることに深く敬意を表します。

さて、大正12年4月に県内に水平社が設立されてから、今日に至るまで、先人たちは部落差別解消に向けて様々な活動に取り組んできました。教育面においても、昭和45年に学校現場に同和教育推進主任が配置され、翌年には県教育委員会に同和教育係が設置されるなど、同和教育の推進体制の整備が進み、部落差別解消を目指して教育活動を展開してまいりました。

県教育委員会では、現在、これまでに培った「差別の現実には深く学ぶ」ことを原点として、平成28年に施行された「部落差別の解消の推進に関する法律」に基づき、必要な教育や啓発活動などに取り組んでいるところですが、人間の尊厳を守ることが差別解消への道であることを示した水平社の理念は、部落差別のみならず、障がい者への差別やいじめ問題、ヤングケアラーに関する問題など、人権課題が多岐にわたる現代社会においても、私たちを導いてくれる道標になっていると考えます。

愛媛水平社設立100年を迎えた今、かつて団結を呼びかけた水平社のように、私たちは、人権を大切にす同志として、互いの立場を尊重しながら、これまで以上に連携し、同和問題をはじめ、様々な人権問題の解決を目指して、次の一步を踏み出し、共に歩んでまいりたいと考えていますので、皆様方の御理解・御協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、本会の御成功と愛媛県人権対策協議会の益々の御発展を祈念申し上げ挨拶といたします。